

## 第16回日本緩和医療学会学術大会に参加して

7月29日（金）、30日（土）の二日間、札幌で開催され、当院から緩和ケアチームが参加しました。今学会で印象的だったのは、日本で初めてホスピスプログラムをスタートさせた柏木哲夫氏が講演のなかで、「緩和医療の原点を折に触れて見直す作業が大切である」と述べていたことです。がん対策基本法などの影響もあり、疼痛緩和については少しずつ普及してきたように思います。しかし、緩和医療の中心は“苦痛緩和のためのサイエンス”と“こころのこもった全人的ケア”であり、この二つは良いバランスをもって進む必要があります。緩和医療の対象となる患者さんとそのご家族のQOLを考えると、緩和医療の原点をしつかりと見直し、患者さん、ご家族に全人的に関わっていきたいと思います。

（緩和ケア認定看護師 村上 祥子）

当院から4名参加しました。ジンギスカンやビールも楽しみました(^\_^)  
by (す)



村上看護師が「初回告知時からの継続的支援の意義～緩和ケア認定看護師による介入効果の分析から」と題してポスター発表しました。

## 第1回院内緩和ケア勉強会を開催しました！

6月10日（金）講堂にて「経皮吸収型癌性疼痛治療薬の意義と使い方について」と題して協和発酵キリンさんよりご講演いただきました。

院内外より、今までで最も多い130名の参加いただきました。

今後は12月に開催予定です。



《お知らせ》当院の「緩和ケアチーム」が

日本緩和医療学会 2010年度 緩和ケアチームへの登録をしました。

緩和医療学会ホームページ>緩和ケアチーム登録>登録施設一覧より確認できます。

